



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月7日

上場会社名 岡山県貨物運送株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9063 URL https://www.okaken.co.jp/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 遠藤 俊夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 馬屋原 章 TEL 086-252-2111
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	32,310	△1.3	1,330	△18.5	1,575	△10.8	1,056	△9.9
2019年3月期第3四半期	32,732	4.6	1,631	17.9	1,766	17.9	1,172	21.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,071百万円 (8.5%) 2019年3月期第3四半期 987百万円 (△13.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	520.81	—
2019年3月期第3四半期	577.93	—

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	42,364	17,030	40.1	8,386.93
2019年3月期	43,020	16,103	37.4	7,928.12

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 17,004百万円 2019年3月期 16,075百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	70.00	—
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,900	1.4	2,080	7.2	2,170	2.6	1,400	4.1	690.45

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	2,200,000株	2019年3月期	2,200,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	172,473株	2019年3月期	172,294株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	2,027,611株	2019年3月期3Q	2,027,973株

（注）当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定して、「期中平均株式数（四半期累計）」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在のデータに基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善等により緩やかな回復基調にあるものの、消費税増税に伴う景気の下揺れ懸念もあり、国内景気は力強さに欠ける状況が続いております。また、米中の貿易摩擦や英国のEU離脱問題、中東地域の政治情勢等の世界経済に及ぼす影響により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主要な業務である物流業界におきましても、国内総輸送量は、減少傾向が強まっており、ドライバー不足を主因に人件費・外注費の上昇が続く中、さらには燃料価格の動向にも注視する必要があり、厳しい経営環境下で推移しております。

このような状況のもとで当社グループは、2019年の会社目標である「働き方改革の推進と輸送品質の向上」のもとに、長時間労働を是正するとともに労働環境、労働条件を改善し人材の確保を進め、さらには生産性の向上とコストの削減に努めてまいりました。また、お客様のご理解をいただき適正運賃・諸料金(付帯作業料等)の収受にも努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は323億1千万円(前年同四半期比1.3%減)となり、営業利益は13億3千万円(前年同四半期比18.5%減)、経常利益は15億7千5百万円(前年同四半期比10.8%減)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億5千6百万円(前年同四半期比9.9%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

① 貨物運送関連

貨物運送関連につきましては、営業活動の強化とともに適正運賃・料金の収受に取り組んできましたが、運送需要の動きが弱く貨物取扱量は前年同四半期に比べ減少し、営業収益は308億5千8百万円(前年同四半期比0.9%減)となり、営業利益は12億1千2百万円(前年同四半期比17.9%減)となりました。

② 石油製品販売

石油製品販売につきましては、商品販売量の減少及び販売単価の下落などにより営業収益は8億2千4百万円(前年同四半期比20.0%減)となり、営業損失は9百万円(前年同四半期は1千7百万円の営業利益)となりました。

③ その他

その他につきましては、自動車用品販売、フォークリフト販売及び一般労働者派遣等を含んでおり、営業収益は6億2千7百万円(前年同四半期比10.9%増)となり、営業利益は1億1千万円(前年同四半期比9.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は423億6千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億5千5百万円の減少となりました。これは、現金及び預金の減少などにより流動資産が6億1千1百万円減少し、建物及び構築物の減少などにより固定資産が4千4百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、253億3千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億8千3百万円の減少となりました。これは、短期借入金の減少及び長期借入金の増加(主にシンジケートローンの契約終了に伴う返済及び新規借入)等により流動負債が28億4千2百万円減少し、固定負債が12億5千9百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、170億3千万円となり、前連結会計年度末に比べ9億2千7百万円の増加となりました。これは利益剰余金の増加などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、海外における通商問題等の影響が懸念されるなど先行き不透明な状況が続くものと思われまます。

輸送業界におきましては、消費税10%への引き上げの影響による輸送量の減少や、人手不足の長期化によって人件費を含めたコスト負担が増加するなど、厳しい経営環境が続くものと思われまます。

このような状況下、当社グループでは、引き続き労働環境及び労働条件の改善に努め優秀な人材の確保に努めるとともに、人材の育成、さらなる輸送品質の向上を図り、お客様に満足していただける輸送品質で、信頼され選ばれる会社を目指す所存であります。

通期の連結業績予想につきましては、現時点では2019年5月10日公表時からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,658,112	6,123,910
受取手形及び営業未収入金	7,241,059	7,139,697
たな卸資産	142,995	131,247
その他	332,786	368,854
貸倒引当金	△2,982	△2,874
流動資産合計	14,371,971	13,760,835
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,332,292	7,165,189
車両運搬具(純額)	1,539,491	1,701,465
土地	15,497,184	15,498,615
その他(純額)	292,857	303,672
有形固定資産合計	24,661,825	24,668,942
無形固定資産	604,140	585,903
投資その他の資産		
投資有価証券	2,916,566	2,958,936
その他	478,503	402,621
貸倒引当金	△12,351	△12,529
投資その他の資産合計	3,382,718	3,349,029
固定資産合計	28,648,684	28,603,875
資産合計	43,020,656	42,364,710
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	3,032,484	3,038,918
短期借入金	9,509,115	7,131,589
未払法人税等	576,017	92,305
賞与引当金	266,230	5,355
その他	2,553,859	2,826,870
流動負債合計	15,937,706	13,095,039
固定負債		
長期借入金	7,347,306	8,438,477
役員退職慰労引当金	108,424	102,869
退職給付に係る負債	3,112,168	3,242,807
資産除去債務	104,778	105,904
その他	307,086	349,055
固定負債合計	10,979,762	12,239,113
負債合計	26,917,469	25,334,152

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,420,600	2,420,600
資本剰余金	1,770,388	1,770,388
利益剰余金	11,654,725	12,568,804
自己株式	△293,208	△293,732
株主資本合計	15,552,505	16,466,060
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	490,024	506,453
退職給付に係る調整累計額	33,379	32,231
その他の包括利益累計額合計	523,403	538,685
非支配株主持分	27,277	25,812
純資産合計	16,103,186	17,030,558
負債純資産合計	43,020,656	42,364,710

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業収益	32,732,341	32,310,670
営業原価	29,878,349	29,689,525
営業総利益	2,853,992	2,621,144
販売費及び一般管理費	1,222,242	1,290,966
営業利益	1,631,749	1,330,178
営業外収益		
受取利息	34	35
受取配当金	40,208	41,827
受取賃貸料	131,186	128,108
持分法による投資利益	46,465	42,381
受取保険金	—	118,639
その他	71,708	70,967
営業外収益合計	289,603	401,959
営業外費用		
支払利息	152,009	136,029
その他	3,291	20,473
営業外費用合計	155,300	156,502
経常利益	1,766,052	1,575,634
特別利益		
固定資産売却益	29,320	48,683
特別利益合計	29,320	48,683
特別損失		
固定資産売却損	9,211	34
特別損失合計	9,211	34
税金等調整前四半期純利益	1,786,161	1,624,284
法人税、住民税及び事業税	563,774	491,877
法人税等調整額	48,132	75,741
法人税等合計	611,907	567,618
四半期純利益	1,174,254	1,056,665
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,216	647
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,172,037	1,056,018

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,174,254	1,056,665
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△194,844	16,428
退職給付に係る調整額	8,240	△1,147
その他の包括利益合計	△186,604	15,281
四半期包括利益	987,649	1,071,947
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	985,433	1,071,299
非支配株主に係る四半期包括利益	2,216	647

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貨物運送 関連	石油製品 販売	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	31,135,299	1,030,915	32,166,214	566,127	32,732,341	—	32,732,341
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	23,568	1,952,485	1,976,054	968,336	2,944,391	△2,944,391	—
計	31,158,867	2,983,400	34,142,268	1,534,464	35,676,732	△2,944,391	32,732,341
セグメント利益	1,476,812	17,532	1,494,345	122,039	1,616,384	15,364	1,631,749

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用品販売、フォークリフト販売及び一般労働者派遣等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額15,364千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貨物運送 関連	石油製品 販売	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	30,858,108	824,999	31,683,107	627,562	32,310,670	—	32,310,670
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	23,325	1,761,754	1,785,079	916,266	2,701,346	△2,701,346	—
計	30,881,433	2,586,753	33,468,187	1,543,829	35,012,016	△2,701,346	32,310,670
セグメント利益 又は損失(△)	1,212,484	△9,255	1,203,228	110,706	1,313,935	16,243	1,330,178

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用品販売、フォークリフト販売及び一般労働者派遣等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額16,243千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。